

農業用ダムによる洪水調節機能強化の取組

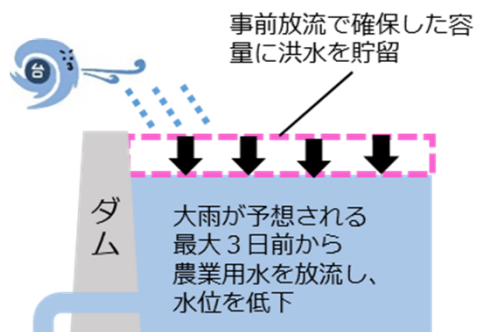
効果概要：既存ダムの洪水調節機能を発揮させるため、全国の農業用ダムで事前放流等の取組を開始。令和4年台風14号の出水では、全国62基のダムで約7千万m³の洪水調節容量を確保し、ダム下流河川の水位上昇を緩和。

府省庁名：農林水産省

■ 実施主体：施設管理者
(国、自治体、土地改良区等)

■ 対策の概要：

近年の水害により甚大な被害が発生していることを踏まえ、既存ダムの洪水調節機能強化の取組を令和2年度より全国の農業用ダムにおいて開始。



「事前放流」とは、大雨による流入量を予測し、降雨3日前から、利水貯留水を放流し、洪水調節容量を確保する取組。

対策の効果

- 令和4年9月の台風14号時の出水では、全国62基の農業用ダムで約7,000万m³(東京ドーム56杯分)の洪水調節容量(治水容量)を確保。
- ダム下流河川の水位上昇を緩和し、被害防止に寄与。

令和4年台風14号における事前放流等の実施状況

	ダム数	ダム名
基準降雨量(※1)を超え事前放流を実施	19基	【長野県】牧尾、【愛知県】宇連、大島、【岡山県】黒木、大佐、【福岡県】広川、切畑、【長崎県】浦の川、【熊本県】清願寺、志岐、教良木、【宮崎県】浜ノ瀬、切原、青鹿、【鹿児島県】金峰、十曾、竹山、輝北、永吉
基準降雨量を超えた時点で容量確保済み	29基	【北海道】神居、【岩手県】大志田、【愛知県】大野頭首工、羽布、【岡山県】久賀、香々美、明治、湯野、大竹、北房、【島根県】坂根、【福岡県】合所、山口、江川、山谷池、古賀、【佐賀県】北山、【長崎県】小ヶ倉、【大分県】松木、久木野尾、深見、【熊本県】五和、五和東部、楠浦、【宮崎県】木之川内、【鹿児島県】高川、谷川内、中岳、高隈
時期ごとの貯水位運用(※2)	14基	【北海道】エルム、卯原内、古梅、落合、【富山県】刀利、臼中、【福岡県】小川、【佐賀県】繁昌、庭木、天ヶ浦、古木場、打上、【長崎県】別所、【大分県】日出生
計	62基	

※1 河川の流下能力からダム毎に設定された事前放流開始の基準となる雨量

※2 水利用を行う可能性が低い期間等に出水の有無にかかわらず、あらかじめ水位を下げておく運用

ひしだがわ きほく
菱田川水系輝北ダム(鹿児島県鹿屋市)



水系名	菱田川
河川名	大島川
流域面積	23.0 km ²
利用目的	かんがい

輝北ダムにおける洪水調節容量の確保の経過

